

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 地域コミュニティの持続可能性に向けた挑戦</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>少子高齢化と人口減少が進む中、自治会をはじめとする地域コミュニティは、防災・防犯・子育て支援・高齢者見守りなど、本市の暮らしを支える“最後の基盤”である。しかし、自治会加入率の低下、担い手の高齢化、会費負担の障壁、若年層の不参加、デジタル未対応などの課題が同時に進み、善意と無償の努力に依存する仕組みは限界に近づいている。この状況が進めば、これまで培ってきた地域のつながりは失われ、防災力も、見守りも、子どもの居場所も脆弱になることが予測される。</p> <p>(次ページへ続く)</p>	<p>(1) 現状確認と未来予測</p> <p>(2) 課題の明確化と現状の対策・支援内容について</p>	<p>① 自治会をはじめとする地域コミュニティによる活動は、生活の基盤となっていることは言うまでもなく、本市において防犯・防災・環境整備・福祉・子育て支援等を支える「公共的機能」を担う存在という認識で間違いないか伺う。</p> <p>② 自治会加入率の低下や担い手不足について社会的課題としてたびたび取り上げられるが、本市の自治会加入率の推移を伺う。</p> <p>③ 自治会加入率の低下が何パーセントを下回ると、持続可能性が低くなると判断するのか伺う。</p> <p>④ 自治会加入率の推移から、今後、自治会の担い手は増えると想定しているか伺う。</p> <p>⑤ 今後も地域の善意と無償労働を前提とした運営を続けることが、自治会運営を持続可能にすると考えているのか伺う。</p> <p>⑥ 今後、自治会加入率の低下が加速した場合、どのような問題が本市に起こると予想しているか伺う。</p> <p>⑦ 自治会が担っている公共的機能を市が直営化した場合、どのくらいの年間予算が増加すると試算しているか伺う。</p> <p>⑧ 現体制が崩壊するリスクがある中、それは任意団体の課題として「関与しない」のか、それとも「早急に積極的な介入」をして基盤を整え直す必要があるのか見解を伺う。</p> <p>① 自治会加入率低下の原因や、未加入理由をどのようなものであると把握をし、どのように分析しているか伺う。</p> <p>② 小項目①を踏まえ、自治会加入率の低下に対して本市が行っている対策や支援内容を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>徐々に行政が直営で担うことになれば、財政負担は確実に増大し、市民サービスの質も揺らぎかねない。もはや「場当たりの支援」や「お願い型の関与」では、持続可能性は担保できない状況である。そこで、人・物・金の支援を再定義し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴走型支援体制の構築 ・デジタル基盤の普及支援 ・会費軽減と財政支援の連動 ・若者参画を制度として実装 ・高齢者安心継続モデルの構築 <p>といった構造改革を進める段階にあると考える。</p> <p>現状維持か、または、構造改革か、どちらに進むのか方向を示し、本市の未来への挑戦に対する覚悟を問う。</p>	<p>(3) 加入促進と担い手確保の仕組みづくり</p>	<p>③ 自治会加入率の減少、高齢化は進行し、担い手不足に直面している。この状況を踏まえ、現行の支援策は「成果を上げている」と評価できるのか伺う。</p> <p>① 自治会運営の構造改革のためにはデジタル化が必須となるが、デジタル化推進のためにデジタル専門人材を派遣するなどサポート体制を行っているか伺う。</p> <p>② 自治会活動の見える化について、各自治会でパンフレットや HP・SNS 等による情報発信支援を行っているが、地域や人員によってデジタル導入に格差が生じている状況は否めない。格差是正のため、共通の情報発信ツールを市が整備し、操作支援まで含めて伴走する仕組みの導入について検討の余地がないか伺う。</p> <p>③ 若年層参画の改善策として、デジタル化は効果が高いと期待されるが、自治会へのデジタル化推進支援（公式 LINE を活用した回覧促進、オンライン会議、クラウド共有、活動ポイント付与）などの導入の検討が可能か伺う。</p> <p>④ 本市の公式 LINE の登録者数増加への取り組みとして、ポイント制（例：登録で〇〇P、地域活動参加で〇〇P など）のインセンティブ導入の検討が可能か伺う。</p> <p>⑤ 自治会の退会・未加入理由の一つに集金の負担がある。現金集金が心理的障壁となっている可能性もある。電子決済による会費徴収を標準化し、市が導入支援を行うことで、加入しやすい環境を整える方法の検討が可能か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 若者の地域コミュニティ参画の推進について	<p>① 本市でコミュニティスクール導入によってどのような成果が得られているか伺う。</p> <p>② 不登校や孤立などの課題が増える中、コミュニティスクールは地域の人と関わるきっかけとなるため、地域活動を通じて子どもの居場所にもなり得るが、その視点での制度設計・取り組みがされているか伺う。</p> <p>③ 自治会の高齢者中心モデルは持続困難であり若者参画は「努力目標」ではなく「必達目標」であるため、以下の参考例 (i) ~ (iii) で示す制度設計が考えられるが、すでに実施、または、検討可能な方法があるか伺う。</p> <p>参考例：近隣大学や高校と包括連携協定を結び、</p> <p>(i) 自治会運営インターン制度</p> <p>(ii) 地域実習単位認定 (ボランティア認定)</p> <p>(iii) 地域商店等で使える活動ポイント付与</p> <p>④ 都市像3政策3の重点事業である菱野団地再生計画では、人口減、高齢化問題が深刻である団地において、約7年前より住民と協働で再生に向けたプロジェクトを進めており、住民バスの運用、大学生の活動参加、コミュニティスクールとアントレプレナー教育を通じて中学校との連携イベント、多文化共生、環境美化の取り組みと、地域住民と創る自治の新たな形を模索できている。みつば小学校の学校再編により計画はいよいよ完成を迎え、これからの自治体再生のモデルケースとなり得ると期待されている。しかし、2年前、活動拠点の家賃が発生したことによって資金難に転じ、あと数年で運営団体の拠点維持が困難となりうる状況が報告されている。数千万円の予算と人員を投入し、労力をかけたにも拘らず、コミュニティ再生が途絶える可能性があるが、本市の地域活性化のモデルケースとして運営費の補助を行う可能性を伺う。</p>

(3 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) 高齢に伴う退会について</p> <p>(6) 自治会への金銭的支援について</p>	<p>① 高齢を理由に自治会を退会する人が増えているが、退会が続いた場合、見守り機能や災害時の安否確認体制にどのような影響が出ると認識しているか伺う。</p> <p>② 高齢者が自治会に所属し続けることで、平時のゆるやかな見守り、隣人による異変察知、認知症の初期兆候の気づき、体調急変時の迅速な対応、災害時の安否確認など、命を守る機能が働くと考えるが、市はその効果をどのように評価しているか。</p> <p>③ 高齢者本人だけでなく、遠方に住む家族にとっても「地域とつながっている」という事実は大きな安心材料になる。自治会を“負担の場”ではなく“安心の基盤”として位置づけ直し、自治会と協力した見守り登録制度推進・デジタル安否確認ツール導入などを組み合わせた“高齢者安心継続モデル”への支援を構築する可能性を伺う。</p> <p>① 自治会加入率の低下が進み、加入者と未加入者の割合が逆転すれば、会費を支払い活動している人ほど不公平な状況が顕在化する。このような不公平感は、善意での活動を阻害し、加入率の低下を加速させることになると考えるが見解を伺う。</p> <p>② 自治会の退会理由・未加入理由として「会費負担」が一定割合を占めている現状について、経済的負担が加入率低下に直結しているという認識があるか伺う。</p> <p>③ 本市から自治会への支援の一つとして、毎年、瀬戸市自治連合会補助金として支援をしているが、昨今の物価上昇を踏まえ、自治会活動の継続に対して十分な額を支援できているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

2 番	颯田季央 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(7) 地域コミュニティの持続可能性に向けた挑戦について	<p>④ 会費負担が入会の障壁となっているのであれば、市からの財政支援を拡充する代わりに、その一部を会費減額に充てることを条件とする仕組みを設けることで、加入促進と公平性を両立できると考えるが、そのような制度設計を検討することが可能か伺う。</p> <p>⑤ 現在の補助金だけでは、運営の担い手確保や事務負担軽減に措置できない状況と推察されるため、補助対象経費の対象を指定した上で増額し、事務支援人材派遣やデジタル化支援への充当を認める柔軟な制度設計を検討することが可能か伺う。</p> <p>① 市長は本市の未来への挑戦としてどのような覚悟で現状維持か、または、構造改革か、どちらに進む方向を示すのか見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。